

東由利町報

3/1

No. 336 昭和58年3月1日発行 毎月1日発行

昭和58年 No. 336



町の
生活目標

1. 町の心は明るいあいさつ
2. きれいな町で健康なくらし
3. ミエ・ムダはぶいて生活の工夫
4. 学び・働き・助けあう・ゆたかな心

新しいしめ縄は、午後一時過ぎ、神官のお払いを受けたあと、しつかりとじよ柱に張られ、向こう一年間人々や家畜などをわざわいの神から守ることになりました。村人の心を一つに合わせ、郷愁を呼ぶ古き良き風習「ふるさと志向」が呼ばれている今日、いつまでも大切に守り続けてほしいものです。

悪病や魔物、出入禁止——津沢で二月三日、数百年前から続けられている「しめ縄張り」が行われました。これは、長さ十丈以上のしめ縄を集落入口に立てたじよ柱に張るもので、毎年この時期に行う年中行事といいます。しめ縄は、神聖な場所と不浄な外界とを区別するためのものとして、昔から各地で新年に門口に張られていますが、十尺を超すしめ縄を張るのは、現在、町内では津沢だけとのことです。

津沢 十二メートルの大しめ縄張る

わざわいの神 出入禁止

在京町出身者も激励に



「残るわずかの期間、健康と安全就労にいつそう注意し、笑顔で帰郷されるよう」と激励する町長

談義に花咲かず

当日は、都内及び近県から百五十人余りの出稼ぎ者と東京東由利会員約五十人が参加。上京した町長、収入役、正・副議長、議会各委員長、農協長らと例年より少ない積雪状態や就労状況などについて情報交換をし、交流を深めました。

集会ではまず町長があいさつに立ち、農業生産基盤の整備や道路網の整備、水道拡張事業、出羽丘陵開発、林業振興、小学校統合、工業導入などの現況を説明し、町政への理解と協力を要請するとともに「春には笑顔で帰郷されるよう、残るわずかの期間、安全就労と健康にいつそう注意し、元気でがんばってほしい」と激励。小野町議会議長、村岡、 笹山両代議士秘書、佐藤県出稼ぎ互助会東京連絡事務所長、小松農協長、長谷山治弥東京東由利会会长代行（地下の沢出身）、それに、神奈川県建設業会や有限会

社石井建設（神奈川）、双葉電子工業株式会社（千葉）、株式会社ハネダ（東京）の各事業所代表らから励ましのことばが寄せられました。

続いて、町担当職員が、出稼ぎ就労状況と安全就労について説明。木島忠一さん（黒沢）、佐藤光男さん（下通）、村上喜夫さん（石高）が、それぞれ就労事業所の概要と就労状況を紹介しました。

このあと、懇談会に移り、席上、東京東由利会員の皆さんが、出身地や職業など自己紹介。二百人を超す参会者は、新処出身の遠藤昭治さんが経営する「えびす屋」調製の折り詰めをさかなかに杯を交わし、近況交換や郷里の話に花を咲かせました。

また、会場には、東由利会員によつて三味線、尺八の奏者とともにカラオケもセットされ、正面に設けら

出稼ぎ者激励懇談会 及びふるさと集会

ふるさとのなまりなつかし激励会——町出稼ぎ者激励懇談会 及びふるさと集会が二月二十日、 東京・千代田区平河町の全国都道府県会館で行われました。

激励懇談会は、出稼ぎ援護対策事業の一つとして八年前から毎年この時期に実施しているものです。昨年からは東京近辺で活躍している東京東由利会会員も出席し、出稼ぎ者を励ますとともに郷里に思いをはせ古里談義に花を咲かせており、今年から「ふるさと集会」の文字を加え、いっそうの盛会を期したものです。



お互いの健康と無事故就労を誓って万歳三唱



「田代出身の長谷山です。20年ぶりの顔を見つけ、うれしくて…」在京町出身者もおおぜい出席し、古里談義に花を咲かせた

議員の請求による町議会第二回臨時会が、二月二十六日に招集され、上ノ山地区土地造成見積等調査特別委員会の設置について一など次の二議案を審議。原案どおり可決して閉会しました。

【上ノ山地区土地造成見積等調査特別委員会の設置について】

補地となつた蔵字上ノ山地区の土地造成見積等に関する諸設置し、地方自治法第百条に規定する調査権を委託した。

臨時議会

上ノ山地区土地造成見積等調査特別委員会を設置

委員に八氏を選任

献血ありがとうございます

82名の方がご芳志

償十六万四千円▽食糧費二万 八千円▽消耗品八千円。

杯を手に、郷里の話はつきない



古事記

れた即席ステージでは、出稼ぎ者、東由利会員らが引きも切らず自慢の「のど」を披露してムードを盛り上げ、都心にいるとは思われないような熱気と東由利弁が会場いっぱいに満ちあふ

午後四時半過ぎ、鈴木博士（大琴）の音頭で、お互いの健康と無事故就労を誓い合って万歳を三唱し、盛会のうちに会の幕を閉じました。



↑励ましのあいさつをする長谷山東京東由利会会長代行



↑江差追分を熱唱する寺田の畠山さん…みごとな節回しにプロも真っ青

調査経費は二十万円と定め、委員に次の八氏を選任した。
（◎は委員長、○は副委員長）
◎小松与惣雄 ○長谷山二郎
・長谷山喜市郎 ・伊東庄一
郎・小野要造 阿部剛
・渡辺清一 梅津栄一

【昭和五十七年度町一般会計補正予算（第十号）】
歳入歳出予算の総額にそれぞれ二十万円を追加し、歳入歳出それぞれ二十三億七千六百四十九万九千円とした。
歳出補正内訳は、議会特別委員会の上ノ山地区土地造成見積等調査にかかる費用弁



銀色有功章が贈られた浅田竹廣さん

大琴の浅田竹廣さん（三十歳）は、このほど、日本赤十字社から「特別社員」の称号と銀色有功章（バッヂ、楯）が贈られました。

浅田さんは、これまで三十

回を超える献血に協力していました。

午後四時半過ぎ、鈴木博士（大琴）の音頭で、お互いの健康と無事故就労を誓い合って万歳を三唱し、盛会のうちに会の幕を閉じました。

午後四時半過ぎ、鈴木博士（大琴）の音頭で、お互いの健康と無事故就労を誓い合って万歳を三唱し、盛会のうちに会の幕を閉じました。

笑顔で話す胸のうちには、留守を守る家族への思いが常に…

出稼ぎ先で不在者投票を

「棄権は危険」一票を有効に

来る四月十日に、県知事と県議会議員の統一地方選挙が行われます。この選挙は、不況下の地方自治のあり方を方

向づけ、豊かで住みよい地域社会を築く扱い手となる代表を選ぶ重大な意義をもつ選挙です。

出稼ぎ期間中に行われる選挙のため、不在者投票制度を利用する人が多いと思われます。そこで、今号では、不在者投票の手続きを中心に、選挙のあらましをお知らせします。

不在者投票・宣誓書兼請求書

私は、次の事由によって昭和五十八年四月十日執行の秋田県知事選挙及び秋田県議会議員一般選挙の当日自ら投票所に行つて投票することができない見込みであります。

(不在者投票事由)

昭和五十七年二月五日から昭和五十八年四月五日まで

東京府道千代田区市郡村

霞が関二番地

山川株式会社にて勤務

(従事中)

のため旅行(滞在)中

のため歩行が著しく困難

なう、真実に相違ないことを宣誓し併せて公職選挙法施行令第五十条第一項の規定により投票用紙及び不在者投票用封筒の交付を請求します。

なお、投票は、東京都千代田区選挙管理委員会において行いたいので申し立てます。

昭和五十八年四月四日

現住所(居所)東京都千代田区霞が関二之一

選挙人名簿に記載されている住所

東由利町老方字後田七番地

生年月日 明大三十三年三月三日生

職業 農業

氏名 東由利太郎

選挙管理委員会委員長 殿

選挙は三月二十九日からそれぞれ四月九日までの間です。

東由利町選挙管理委員会へ送

留守家族の皆さんにお願い

出稼ぎしている方で、四十日まで帰つてこない方は、不在者投票を希望しているも

投票日までに
帰る人は不要

不在者投票する際は、特に

次の点に注意してください。

(1) 四月十日までに帰郷し、

直接投票できる人は不在者投票できません。もし、不在者投票用紙等は告示後に交付されます。

投票用紙等の請求は告示前にでもできますが、この場合、投票用紙等は告示後に交付されます。

郵送された投票用紙等全部を

投票所に持参し、新たに投票手続きを取つてください。

(2) 町から郵送された投票用紙等は、手元に止めず、直ちに投票しましよう。

(3) 不在者投票証明書在中封筒を勝手に開封したり、選挙管理委員会へ持参しないで、自分で投票用紙に記載すると

「無効」になります。

(4) 告示後の不在者投票請求は、できるだけ速達にしてください。

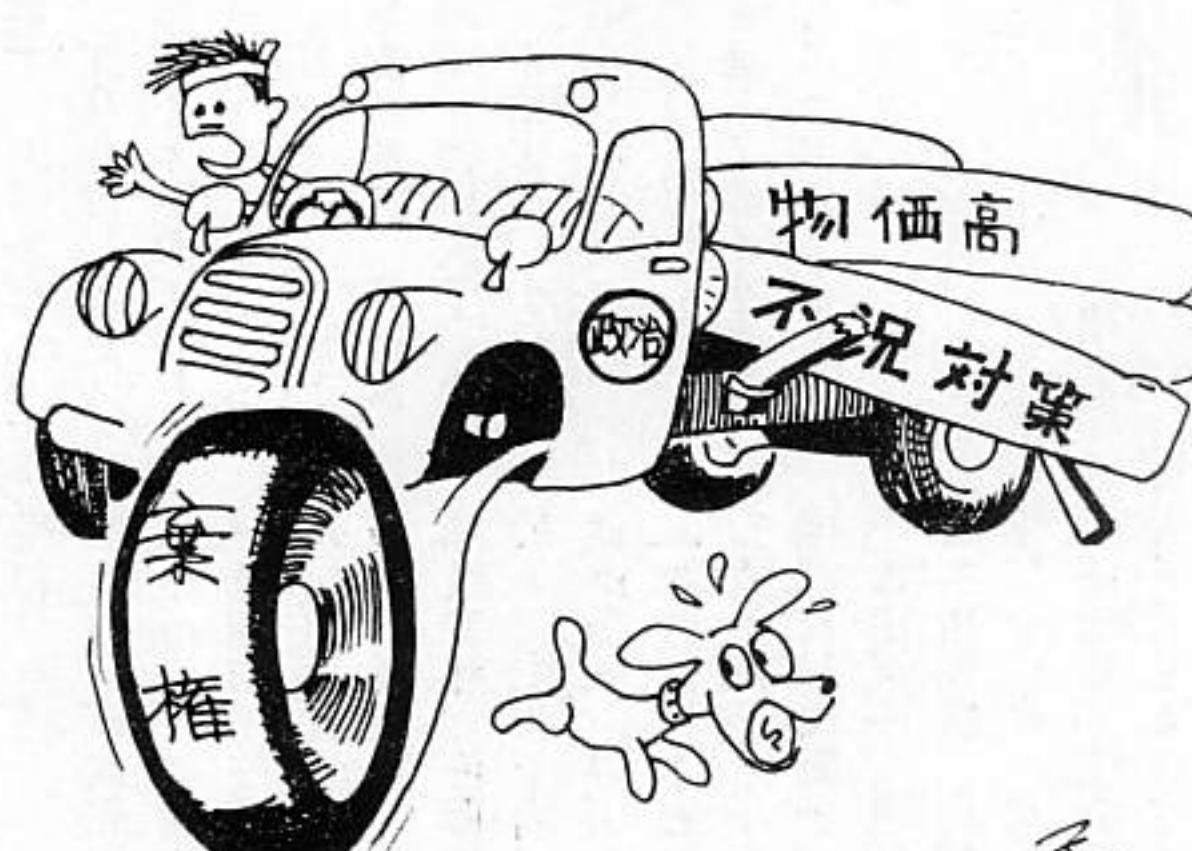
は、できるだけ速達にしてください。

ださい。

▽宛先〒015-102秋田県由利郡東由利町老方字後田七〇ノ三 東由利町選挙管理委員会

また、差出人の住所(出稼ぎ先の住所、番地、様方まで)はつきりと、氏名を明記してください。

あなたの棄権で危険政治に!



義男

このほか、身体の障害など

のため、自分で投票用紙に候補者の氏名を書くことができない人のために「代理投票制

があります。選挙は、わたしたちの暮らしの願いを政治に反映させる最大のチャンスであり、わたしたちの一票は暮らしを良くするための貴重な「意志表示」です。あなたの

一票を有効に使いましょう。

身障者の方、代理・在宅投票ができます

あなたが身体に重度の障害があるため投票所に行けない人のために、郵便によつて不在者投票ができる「在宅投票制度」

も、不在者投票制度を利用して投票しないで選挙に参加するよう、連絡をお願いします。

△目の不自由な人のために「点字投票制度」——などがあります。詳しくは、選挙管理委員会にお尋ねください。

△身体に重度の障害があつて投票所に行けない人のた

めに、郵便によつて不在者投票ができる「在宅投票制度」

度」△身体に重度の障害があつて投票所に行けない人のた

めに、郵便によつて不在者投票ができる「在宅投票制度」

△身体に重度の障害があつて投票所に行けない人のた

めに、郵便によつて不在者投票ができる「在宅投票制度」

度」△身体に重度の障害があつて投票所に行けない人のた

めに、郵便によつて不在者投票ができる「在宅投票制度」

度」△身体に重度の障害があつて投票所に行けない人のた

めに、郵便によつて不在者投票ができる「在宅投票制度」

度」△身体に重度の障害があつて投票所に行けない人のた

めに、郵便によつて不在者投票ができる「在宅投票制度」

度」△身体に重度の障害があつて投票所に行けない人のた

めに、郵便によつて不在者投票ができる「在宅投票制度」

度」△身体に重度の障害があつて投票所に行けない人のた

めに、郵便によつて不在者投票ができる「在宅投票制度」

度」△身体に重度の障害があつて投票所に行けない人のた

めに、郵便によつて不在者投票ができる「在宅投票制度」

本町山崎出身の嶽石正典さん（二十四歳）は、昭和五十七年度第三次青年海外協力隊員としてアフリカのタンザニアに派遣されることになり、二月十四日元気に成田空港を飛び立ちました。

嶽石さんは、西目農高から福岡県の久留米建設機械専門学校へ進学、神奈川の自動車販売会社で整備を担当していましたが退職、タンザニアの畜産開発公社で主に農業機械

の整備に当たります。本町山崎出身の嶽石正典さんは、昭和五十年（二十四歳）は、昭和五十七年度第三次青年海外協力隊員としてアフリカのタンザニアに派遣されることになりました。嶽石さんは、西目農高から福岡県の久留米建設機械専門学校へ進学、神奈川の自動車販売会社で整備を担当していましたが退職、タンザニアの畜産開発公社で主に農業機械



青年海外協力隊員として「草の根協力」に旅立った嶽石さん

正典さん（出山崎）アフリカへ

青年海外協力隊員で一年間

経済性の高い肉牛造成を

町子牛価格は市場平均下回る



情勢の変化に対応できる経営、技術の改善向上を一町、農協、共済組合が毎年共催している畜産講演会が二月二十四日、秋田県畜産試験場の北川重一経営部長を講師に迎え、有鄰館で開かれました。

会場の集会室には、日ごろから牛の世話を熱心な人たち二百五十人余りが集まり「牛の飼養管理と畜産経営について」と題する二時間余りの講演に、真剣に耳を傾けメモをとっています。

講演の中でも北川部長は「和牛は経済動物」北川部長の講演に「畜産農家は目、耳、全神経を集中」

と頭数の推移▽子牛価格の市場・地域間格差▽改良と経営効果▽もうかる繁殖経営などについて、具体的な数字をあげて説明。「昭和五十六年の本荘由利家畜市場の一頭東由利は、市場平均より約二万一千円、大内町と比べると約四万八千円も低い。しかもこの格差は広がる傾向にある」といった問題点を指摘。「和牛は経済家畜であり、将来を見通しながら経済性の高い肉牛造成に努めなければならぬ。経済効果は、遺伝因子と環境的要因によるもので、収益性向上にはこの両者を調和させることの必要がある」と述べ、素牛の改良、飼養技術向上などに農家のより積極的な取り組みを奨励しています。

赴任地は、首都ダルエスサラームから約千八百キロ離れたビクトリア湖そばのムソマ市。協力隊員が派遣されるのは、嶽石さんら二人（先に、別地に派遣されていた隊員と現地で合流）が初めての地と言います。

派遣期間は二年間。言葉や習慣、環境の違う開発途上国で日本人二人、現地の人びとと生活をともにし、一緒に汗を流し、一緒に考え、経済、社会の発展に「草の根協力」を行なう嶽石さんの活躍に、大きな期待が寄せられています。

本町の事業量は▽草地造成二百十七・四ヘクタール・幹・支線道路整備三十・二キロで、全体の約四一%を占め、今年は▽草地造成二十八・七ヘクタール・道路整備二、九五〇キロを実施する計画です。出羽丘陵開発事業は、本町有史以来の大事業であり、農林業の振興はもちろん、地域発展にも大きな役割を果たすものと町民からも期待されており、早期完成を願うものです。

本町の肉用牛飼養頭数は、五百六十頭を数え、県内でも最高位の产地となっています。

「東由利牛」として肥育農家や市場での評価を得るためにも、解説しなければなりませんが、

町では、全国和牛登録協会の育種事業に基づき繁殖事業の改良を推進し子牛の育成率を高めるとともに、今年から出羽丘陵開発事業に着手し、粗

組みを期待しました。

本町の肉用牛飼養頭数は、五百六十頭を数え、県内でも最高位の产地となっています。

なお、町では、今回の講演要旨を冊子にまとめ、全畜産農家に配付し、活用してもらいました。

3月12日 交通死亡事故ゼロ
千日達成
55.6.16~58.3.12 みんなで伸ばそう
「O」記録

後田隨想



産業経済課長 畑山良一

五十七年の全国的な冷害により軽減されたとは言え、本市には、五十八年度転作率一五・三%、百七十九ヘクタールの転作等目標面積が配分されました。

しかし、頭数の割合に草地面積が少なく、その分濃厚飼料にたよっているのが実情です。

このため、粗飼料確保と安定規模拡大を図ろうと、周知のようになります。先に、総事業費百四億三千九百万円の基本計画が国から認められ、現在、事業主体の農用地開発公団で、事業実施に向けて全体事業計画を策定中です。

本町の事業量は▽草地造成二百十七・四ヘクタール・幹・支線道路整備三十・二キロで、全体の約四一%を占め、今年は▽草地造成二十八・七ヘクタール・道路整備二、九五〇キロを実施する計画です。

出羽丘陵開発事業は、本町有史以来の大事業であり、農林業の振興はもちろん、地域発展にも大きな役割を果たすものと町民からも期待されており、早期完成を願うものです。

三世代間の意志疎通図る

県ボランティアの
集い中央地区大会
有鄰館で



「地域社会に私も一役」をテーマに、第九回県ボランティアの集い中央地区大会が、一月二十九・三十日の両日、有鄰館で開かれました。これは、日ごろボランティアが集い、意識の向上を図りながらより豊かな地域社会を築こうと、県青年ボランティア連盟・本荘市由利郡ボランティア連盟が主催したものです。

集いには、由利郡内をはじめ、河辺、平鹿、雄勝郡内から二十代を中心に約七十人が参加。寝食を共にして交流を深めました。

今回のマーンは、本町の連合婦人会員、老人クラブ員を

混じえた三世代による語り合いで、「よりよい地域社会をめざして」を主題に五つの分科会で討論。この中では△小さくいたわり合い、理解し合って行動することが明るいところからの家庭でのしつけが大事▽相手の立場を考えて家庭づくりに結びつき、地域づくりに結びつく――といつ

町長日記

農業基盤整備事業について

本町の行政の大きな柱として、農業基盤整備事業を推進しております。その成果が町内各地域に見られるようになりました。

- 1、農業の生産性の向上
- 2、土地、水資源の開発、確保
- 3、農村地域の定住条件の整備

基盤整備と生活環境整備を行っています。事業費は四億四千二百万円。地区には、これまでの土地改良事業を総合的に補完するため、「土地改良総合整備事業」を実施しております。四億七百万円。

- 3、蔵・老方・館合・田代・黒瀬地域には、生活環境整備のために「農村総合整備モデル事業」を実施しています。十八億

- ・広域関連農道（高村線）
- ・農免農道（根小屋線・軽井沢線、大内町界より大吹川まで延長11・2km）
- ・過疎対策農道（石高線）
- ・山村振興農道（新沢線）
- ・開拓農道（八塩線）
- ・町営農道（大台線、須郷線、葎沢線等）

このようにしまして、町内が年ごとに改良されることがおわかりのことだと思います。全体事業費百三億円のうち、六十五億が実施済みで、三十八億がこれから事業費となります。

農業基盤整備事業は、農業の生産性と農村の繁栄をはかる基盤づくりの政策です。

農業基盤整備事業は、農政の基本課題に答える政策であつて、各町村が競つて、各町村が競つて導入に努力をしています。幸い、本町は、上級機関の協力によつて、現在のよ

東由利の地名

= 33 =

久利・具利）と関係がある。例えば、砂利より大きい径10cmぐらいのもので、土木建築の基礎工事など敷きなしの石材として使うものを、クリ石（グリ石）と呼んでいるが、語源は塊石だという。

小倉は川沿いのガケにある集落であるし、茂沢の奥の倉は「東遊雜記（天明八年）」に古川古松軒が随行を許されて書いたに「老方村より少し出でてアンサ峠と称す大坂あり。この坂の間三里、頂を街道とす。左右を見るに山連々として、見るところを方言でガ・ン・クラといふが、漢字では岩・倉・崖・倉などとなるのではないか。

群馬県の谷川岳には、茂倉沢・一の倉沢・一の倉岳などあるが、このようなくらいう地名用語は、それぞれ「谷・峡谷・絶壁・断崖・岩山」などというような意味に使われている。

このクラはまた「暗礁・岩礁」を意味していることからのクリ（礁・栗・繩・

小倉・倉

(2)

全国の地名に見られる鎌倉・岩倉・朝倉などの倉や、股ぐらなどのクラも谷の意味があるのだと言われる。

以上のようなことから、東由利の倉のつく地名は当て字で、字義通りの倉庫や土蔵があつたからなものでないと思

本町は、意欲的にこの政策を導入しました。現在、総事業費が百三億円といふ膨大な事業量をもつて、生産性の高い農業と住み良い農村環境という農政の基本的課題に取り組んでいます。この事業の内容を申しますと

○先ず、農業生産基盤の整備開発としては

- 1、圃場整備事業
- 2、農業基盤整備事業
- 3、農地保全事業
- 4、農用地開発事業

農業基盤整備事業は、農政の基本課題に答える政策であつて、各町村が競つて導入に努力をしています。幸い、本町は、上級機関の協力によつて、現在のよ

うな進展をみておる訳であります。

(文・畠山昭一)

3月 のこよみ

陰暦異名・弥生（やよい）
誕生花・忘れな草（眞の愛）
誕生石・血石（ブラッドストン）（勇敢）

曜日	行事
1 火	固定資産課税台帳総覧（～20日）
2 水	
3 木	民生委員協議会、農業後継者研修バス（山形・宮城～4日）
4 金	健康大学（有鄰館）
5 土	
6 日	
7 月	贈与税申告相談（役場）、乳児健康相談（有鄰館）
8 火	町連合婦人会総会
9 水	
10 木	
11 金	町議会定例会招集
12 土	
13 日	
14 月	
15 火	東由利中卒業式、住民税・所得税申告期限
16 水	老方小卒業式、県知事選挙告示
17 木	八塩・藏・大琴小卒業式
18 金	
19 土	
20 日	
21 月	春分の日
22 火	
23 水	
24 木	
25 金	農業委員会
26 土	
27 日	
28 月	
29 火	秋田県議会議員選挙告示
30 水	
31 木	
摘要	

転出する方は早めに準備を

転出先住所は詳しく

三月から四月にかけては、就職や進学などで住所を異動する方が多くなります。役場の窓口もこの時期になると毎年混み合いますので、異動する方は早めに準備しま

おしゃせ

町の概要

人口総数 6,281人
うち男女 3,102人
うち男女 3,179人
世帯数 1,437戸
面積 (58.1.31現在) 148.51km²

しょ。

（転出の場合）

転出する場合は、住所を異動する前に役場に届け出て、

「転出証明書」を交付（無料）してもらい、転出先（就職先や進学先）の市役所または市

町村役場（東京都などは区役所）へ転入した日から十四日

以内に転出証明書を持参して

住民登録してください。

転出証明書を交付してもら

うときは、転出先の住所をで

きるだけ詳しく（番地や方書

きまで）、明確に届け出でく

ださい。

（就職、進学時の戸籍謄・抄

本……案内書などを確めて

就職や進学に必要な戸籍謄

本あるいは抄本は、会社や学

校によってそれぞれ違います

ので、案内書などをもう一度

確認してから請求してください。

（印鑑、保険証、年金証書も

忘れずに

転出、転入の届け出をする

ときには、申請者の印鑑が必要です。国民健康保険や国民年金の加入者は、それぞれの保険証・年金証書も忘れず持参してください。

相談は無料で、むずかしい手続きもいりませんし、相談

内容についてはかたく秘密を守りますから心配はいりませ

ん。

（町農業委員会）

通信教育である
たも高卒資格を

秋田東高で生徒募集

・優勝 阿部弘章さん（蔵）
・準優勝 佐々木貴三さん（蔵小）
・三位 千田隆さん（岩館）

厚生年金に入 つたら届出を

農業者年金加入者の皆さん

厚生年金に入
つたら届出を

農業者年金に加入している

方で、出稼ぎなどで厚生年金に

加入した場合は、就労先から

任期満了に伴う人権擁護委員に、昭和五十八年二月十五

日付で本町の次の方々が法務

大臣より再任されました。

証明書の用紙は農協にあります。

農協に届け出してください。

証明書の用紙は農協にあります。

この届け出をしていないと、

受給資格期間不足などで、將

来、年金がもらえなくなる場

合もありますので、ご注意く

ださい。

詳しいことは、農協または

農業委員会にお問い合わせく

ださい。

届け出書類など詳しいこと

は、同校（〒010秋田市中通六丁目

六番三六号、電話〇一八八一

三四一〇四七三）にお問い合わせください。

わせください。

・お悔み申し上げます
阿部 佐平 蔵
古川 ミツエ 中通
高橋 フヂヨ 畑村
佐藤 春綾 畠山 真季子
高橋 定征 金子 昌弘
新澤 秀志 上里 勝徳
大畠 英昭 菊新田 定敏
宇戸坂 力弥 長男
長女
二女

58歳 83歳 88歳

統計で見るわが町 ⑩

投資的経費比率

市町村名	順位	指標
西目町	1	55.3%
仁賀保町	17	43.6
東由利町	18	43.3
岩城町	19	43.0
県平均		38.1
六郷町	69	19.8

昭和55年度
地方課「市町村財政概要」
(注)歳出決算総額に占める比率。

歳出決算総額に対する市町村税収入の割合

市町村名	順位	指標
秋田市	1	39.5%
県平均		20.6
西木村	63	7.4
東由利町	64	7.3
大雄村	65	7.0
東成瀬村	69	4.7

昭和55年度
地方課「市町村財政概要」

（団碁大会（二月十一日・大

ださい。（町農業委員会）

蔵館、団碁愛好会主催）

優勝 阿部弘章さん（蔵）

準優勝 佐々木貴三さん（蔵小）

三位 千田隆さん（岩館）



公民館 57年度の軌跡

中央地区に集中するきらいがあった公民館活動を、地域に広げて充実させよう…そんな願いを込めて関係者と地域が一体となって取り組んでみた公民館のこの1年。

分館活動は近年にない広がりと充実をみたと言えるのではないか。

地域の特性を盛り込んださまざまなタイプの分館だよりは、地域の心のふれあいの場づくりに大きく貢献しています。「発行が待ち遠しい」という声に支えられ、仕事を忘れて取り組んだという分館長さんの一言が、それを証明しています。

社会事情も財政事情も厳しさを増す一方ですが、創意と工夫で・開かれ・待たれる・求めに応えられる公民館活動に高めて行きたいものです。

年度末にあたり、公民館の軌跡と題して主な事業にもう一度目を向けてみることにしましょう。



おしゃせ

知事夫人
講演会



県青年の家では、青年同志の交流を深め、未来について語り合おうと次により「若人のつどい」を行います。多数の参加を。

3月19日(土)と20日(日)にかけて、男女40代にやらないこと、男が40代にやつておくべきこと、遊ぶよのつどいを行います。多数の参加を。

30代にしておかなければならぬこと、男が40代にやつておくべきこと、遊ぶよのつどいを行います。多数の参加を。

新刊購入図書

婦人	家庭	婦人	タ	家庭	婦人	学級名	地区名
宿内	法内	住吉	藏	老方	玉米	期日	会場
3/29	3/28	3/22	3/13	3/13	3/7	会場	有鄰館
高瀬館	克雪センター	田代会館	大藏館	下通会館	玉米支所	内 容	のくらし
料理講習	講話、映画	料理講習	講話	講話	講話、話し合い	内 容	今月の家庭教育学級・婦人学級は次のとおりです。

3月20日は家庭の日

町連合婦人会(小松ミキ会長)では、佐々木県知事夫人をむかえ講演会を行うことにしています。一般の方も多数ご聴講ください。

とき 3月8日(火)

午後1時から

会場

有鄰館

のくらし

午前10時開会～午後3時まで
ところ 八塩館(黒瀬)
内容 わんこそば大会、エアロービックダンス教室、ビデオ学習会ほか。託児所開設
参加希望者は3/28まで公民館へ。

3月20日(日)
午前10時開会～午後3時まで
ところ 八塩館(黒瀬)
内容 わんこそば大会、エアロービックダンス教室、ビデオ学習会ほか。託児所開設
参加希望者は3/28まで公民館へ。

3月20日(日)
午前10時開会～午後3時まで
ところ 八塩館(黒瀬)
内容 わんこそば大会、エアロービックダンス教室、ビデオ学習会ほか。託児所開設
参加希望者は3/28まで公民館へ。

どうもありがとうございました。
印は大琴の佐々木徳昭さん
から寄贈されたものです。

■印は大琴の佐々木徳昭さん
から寄贈されたものです。
どうもありがとうございました。
印は大琴の佐々木徳昭さん
から寄贈されたものです。

■印は大琴の佐々木徳昭さん
から寄贈されたものです。
どうもありがとうございました。
印は大琴の佐々木徳昭さん
から寄贈されたものです。